

第一十八回京阪神聯合保育會

同會は去る十一月十三日午前九時より神戸市立山手小學校に於て開かれました。その大要は左の如くでした。

必要ありと認む、之れ本題を提出する所以なり。

一、談話題

I. 幼稚園に於ける動物飼養及植物栽培の状況並に夫に對する將來の希望を承りたし。

大阪市保育會提出

神戸市保育會長
兵庫縣知事
神戸市長

一、一同著席 敬禮
一、唱歌 君か代
一、開會之辭
一、祝辭

I. 吉備保育會入會の件

2. 會則一部修正の件

一、協議題

各市に存する託児所を本會に加入せしむるの可否

京都市保育會提出

説明 現今社會政策の一として各市共に託児所の設置せ

らるゝもの漸次多きを加ふるが如し、幼稚園の保育事業

と託児所の事業とは多少其目的と範囲とを異にするもの

あるも兩者の間に共通の點も亦少からず。従つて相互の

間に密接なる聯絡を保ち研究を共にするは時勢の要求上

一、研究題

休憩晝食

京都市保育會提出

説明 園児中の發育異常のものに對し或は特別組を編成し或は個別的の取扱を以て其缺陷を補ふ必要あるべし。尙又特殊の性癖矯正に就ても同様の必要あるべし。此等の方法に關し意見者くは經驗談を承りたし。

2. 幼稚園時代の教育に於て主力を注ぐべき點如何

神戸市保育會提出

説明 フレーベル先生は其崇高なる理想の實現に御努めなさいました。モンテツソリー女史は感覺教育を幼児教育の基礎と致されたと思ひます。此等の諸先生とは時代も進み土地も違つて居る現代の幼稚園の教育は又其れに應じて新らしい教育の目的を考へ其點に主力を注ぐべきでありますまい。現代の社會の狀態最近に諸學者の多くの研究に依つて明かにせられた幼児心身の發育状況及皆さんの實際上の御経験などを基礎として御立論あらんことを切望致します。

一、研究及意見發表

1. 幼児の糞便検査に就き

2. 結果が過程か

3. 知能検査の標準について

神戸市保育会

一、遊戯交換

1. 兔さん

2. 秋の山

1. 秋の野遊

2. だるま

1. 帆かけ船

2. 猫の知恵

京都生祥幼稚園保母 小島ツ子

大阪市立桃園幼稚園

以 上

神戸市保育會長

神戸市保育會

一、閉會の辭

以 上

○通りがかりに

ある日の午前、途上で一外國婦人に出會ひました。やつと三歳位の男の子を連れておました。その子は手には毛織物細工の熊と小さい赤い本をもつて、可愛らしい洋服姿で、よち／＼と走るいてゐました。少し草臥れたと見えて、「私の本がもてない」とか、「熊が重い」とか言つておましたが、母なるその婦人は「々同情ぶかくこれに答へ、その本を子供の腰のポケットに入れて、「本を母さんがな／＼してあげませうね」と言ひ尚も歩かせて、市電に乗りました。車内は空いておましたが、子供を自分の膝に抱きました。子供も決して窓から外を見やうなどとは言はず、嬉しそうに母親の膝の上で、熊を胸に抱きしめながら向側にある廣告について、一々母さんの説明を求めてゐました。その中乗換場所に來ました。そこは車の引き返しのところで、一町ばかり歩かねばなりませんでした。次に乗るべき電車は發車しやうとしてゐます。この婦人は走りかけました。しかし子供を抱きませんでした。「坊や、さあ急いで頂戴!」と促しました。子供はチヨコ／＼と走りました。一方の手に熊を抱へ、他方の手を高く母親に引張られて。車内に落ちついた時には、子供の顔は上氣しておました。さも、一生懸命何かを追ひかけたといふ様に。母親はこの子の額に熱いキッスをしておました。伽藍洞の車内に、矢張この婦人は自分の膝に子供を乗せておました。母の顔にも子の顔にも輝きがありました。再び子供は車内の廣告についていろいろ聞いておました。この婦人は日本字が全くわからぬらしいのですが、それでも「母もさんはかう思ふよ」といつて、子供の間に答へておました。

婦人はまだ年若い人でした。しかし我が子に對する教育方針がはつきりしてゐるといふ事を私は何となく感じました。少くとも、この婦人は氣まぐれで子供に對しておないといふ事を直感しました。ことに、かゝる幼ない頃から、自分の力をたよらせるといふことを羨ましく思ひました。(T子)